

レファレンスコード	19821010A
記述レベル	個人・関連団体文書／教員個人文書
文書群名	ハンス・モーリッシュ関係資料
原蔵者	ハンス・モーリッシュ(Hans Molisch 1856～1937)は、オーストリアの植物生理学者です。ウィーン大学で学び、のち同大学の教授に着任。大正12年(1923)に東北帝国大学に招かれ、できたばかりの理学部生物学科の生物学第六講座を担当しました。大正14年(1925)の離任までの間、『東北帝国大学理科報告 第四輯』などに自身の研究成果を発表しました。帰国後、日本滞在経験をもとに研究書『Pflanzembilogie』や、日本文化について紹介した『Im Lande der aufgehenden Sonne』などを著しました。
年代	1921年～1992年
数量・編成	計140点。一次史料だけでなく、後世になって当時のことを回顧して作成された資料なども多いため、大区分として I 同時代史料・II 後世の資料 を設け、さらに前者を1研究関係・2書簡・3その他・4複写物 に、後者を1写真・2書簡・3その他 に分類して整理してあります。
伝来	東北大学教養部の相馬寛吉名誉教授(1926～95)が取りまとめて1982年に寄贈された史料(A)と、その後に追加で寄贈された史料(B)から成ります。主な旧蔵者には、相馬悌介、渋谷章、山崎裕などの方々があります。
データ公開日	2015年3月31日
公開条件	当館利用規則に基づき公開いたします。
利用・複写条件	原本を閲覧していただきます。複写は写真撮影のみで、電子複写はできません。
参考文献等	『東北大学百年史』、渋谷章『回想のモーリッシュ』(内田老鶴圃新社、1979年)、瀬野文教『植物学者モーリッシュの大正日本観察記』(草思社、2003年)、片岡博尚「ハンス・モーリッシュを訪ねて」(『東北大学史料館だより』11、2009年)